

## 「ブラインドテニス」活動報告—— 海外普及活動「上海ワークショップ」を開催

視覚障害者が3次元空間でボールを打ち合う。それがブラインドテニス。今回で5回目となる海外普及活動「上海ワークショップ」が行なわれた。

日本では300名あまりのプレーヤーがいるが、このスポーツは長い間、世界に知られていなかった。外国では、他の障害種のテニスはあったが、視覚障害者が空中に浮かんだボールを打つことは、不可能であると考えられていた。ブラインドテニスは、この常識を覆す。

中国には、37校の盲学校がある。人口が多いので、当然、視覚障害を持つ人々も多く、上海盲学校には180名もの児童・生徒がいる。ブラインドテニスの内容を伝えると、子どもたちは新しいスポーツへの期待を感じてくれた。ファッションナブルなスポーツであるテニスに憧れを抱いたのだ。

とはいえ、自由の利かない目で、宙に浮かぶボールを打つというのは、簡単ではない。特に全盲の場合、身体全体を使った動作をする機会が少なく、テニスのように重心の移動がある運動は、経験があまりない。弱視の小学生女子2人が、全盲の男子にスイングを教えたり、球出しをしたりしている場面があり、ほほえましかった。

今回は、微妙な社会情勢の中、中国と日本の関係が心配されたが、スポーツや教育に壁はなかった。2日間のワークショップで、約50名もの児童・生徒がブラインドテニスを体験。空中のボールを捕らえた時のうれしそうな顔は、万国共通であった。

また、NECとNPO法人STANDの協働により、日本で生まれたブラインドテニスの迫力をインターネットで動画配信。第21回日本ブラインドテニス大会を10月24日に生中継し、翌25日から録画映像を配信。試合の他にも、選手のインタビューも視聴できる。



- 日程：9月24日～25日
- 主催：アジアブラインドテニス普及促進協議会  
<http://www.hanno.jp/matsui/Japanese.html>
- 協賛：NEC社会貢献室 <http://www.nec.co.jp/community/ja/>
- 協力：上海盲童学校、日本ブラインドテニス連盟 <http://homepage2.nifty.com/JTAV/>、上海テニス協会



<http://www.i-project.jp/nec-stand/bt/nihon/2010/> (視聴無料)



インターネット中継を実現させたスタッフ。中央左は大会優勝の大野博文さん